

とこい洋治
県政報告

笑顔大好き

E G A O

D A I S U K I

2007.2.3
VOL.28
とこい洋治後援会
〒319-0205 笠間市押辺1745
TEL.0299(45)6818
FAX.0299(45)0818

3期目、行動開始!



▲笠間市岩間地区の桜川に土砂がたい積しており、大雨の際に田んぼに溢水して収穫に影響が出て困っているということでした。常井議員は、仕事始めの4日に水戸土木事務所に依頼をしたところ、早速5日に安藤河川整備課長らが出向いて現地を調査しました。山に近いので、土砂のたい積が早く、そこにヨシが生えてしまうため、流れを妨げてしまうのです。調査の結果、現状がひどいため、春の耕作期前にたい積土砂の除去をすることになり、その後すぐに工事を実施しました。水戸土木事務所（鈴木敏博所長）の迅速な対応に感謝します。（19年1月）

総務企画委員会 情報委員会 で活躍

茨城県議会は、1月19日、22日に改選後の臨時会を開催し、新たな議会の構成を議決しました。議長には、飯野重男氏、副議長には新井昇氏を選任しました。また、65人の議員の常任委員会などの所属を議決しました。

常井洋治議員は、総務企画委員会に所属することになりました。常井議員は、今回の選挙において、公約として、地元の課題である ①県立中央病院の充実強化一特に、産科と小児科入院の早期再開 ②畜産試験場跡地の利活用の具体化 ③総合流通センターの早期着工の他、全県的な課題として ④次世代に格差を固定化・拡大化させないために公教育の充実 ⑤全ての施策の基盤である県財政の再建 に全力で取り組むことを訴えました。

同委員会では、畜産試験場の跡地の利活用と、県財政再建を所管しますので、常井議員の大いなる活躍を期待しています。

また、情報委員会は、県議会の活動状況を県民の皆様に分かりやすく広報するために、設置しています。常井議員は、「県民の目線」と「納税者の視点」を大切にしていきたいと抱負を語っております。

どうぞ、今後とも常井議員に対し、皆様のご支援をお願いします。



3期目当選

皆様の絶大なご支援 ありがとうございます。 今後も全力投球でがんばります!



▲ 県政に対する、ほとぼりするような熱い思いを訴える常井洋治候補



▲ 天を突くような「がんばろう三唱」。(隣は、塙後援会長)

平成18年12月1日に告示された県議会議員選挙の出陣式には、大勢の皆様にご出席頂き、盛会に開催できました。多くのご来賓並びに推薦団体の代表、そして出席者の皆様から心温まる激励のお言葉を頂きました。

お陰様で、無投票で当選を果たすことができました。ここに改めて衷心より深く感謝申し上げます。

常井洋治候補は、3期目に向けた思いを存分に皆様に訴えました。そして、何よりも、皆様との「信頼の絆」をより強固に築いていきたいと、公約実現への意欲を披露しました。

常井議員は、必ずや、有権者の皆様のこの負託に応えてくれるものと確信しております。引き続き、ご支援をお願いいたします。



▲ 出陣式には、寒い中を大勢の皆さんが参加してくれました。そして、同級生やボランティアの皆さんが、支えてくれました。常井候補は、この感激を忘れないと言っていました。(壇上では、藤井さんらによる手話通訳もありました。)



▲ 出陣式会場や遊説先で一人ひとりの皆さんと握手、握手。



▲ 遊説車の中からも、沿道の皆さんに応えてちぎれるほど手を振る常井候補。告示日1日だけの遊説だったが、暗くなっても続いた。



▲ 1月9日の初登庁で、緊張の面持ちで新しい議員章の交付を受ける常井議員。



▲ 数納青年部長の音頭で、声高らかに当選の「万歳三唱」。

常井議員が、皆さんとともにがんばる！

着々と進む安全・快適な県道整備

県道大洗友部線バイパスの枝折川の橋梁下部工事

総合流通センターと茨城中央工業団地を結ぶ新設幹線道路です。(笠間市柏井地区、発注金額57百万円、工期19年3月末予定)



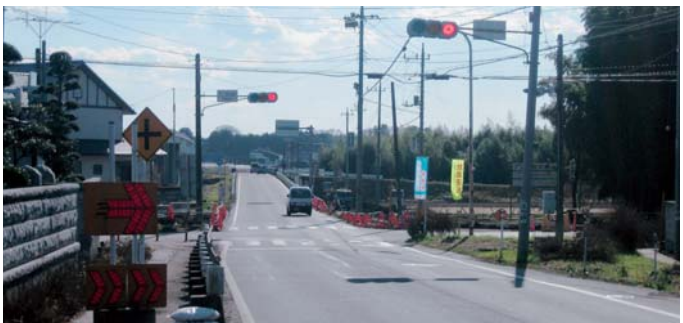
県道大洗友部線バイパスの改良工事

総合流通センターの関連道路整備です。「エリア」前から茨城中央工業団地方面への140mの改良(新設)を行います。(笠間市仁古田地区、発注金額24百万円、工期19年3月末予定)



仁古田十字路の交差点改良舗装工事

交差点を広げて右折車線を設ける工事です。洵沼川方への歩道の設置工事は、後年度になります。(笠間市仁古田地区、発注金額43百万円、工期19年3月末予定)



県道上吉影岩間線改良工事—危険箇所の解消

岩間駅から大笹、納場方面への道路。常井議員が、8年前の初当選後一番先に現地調査をした箇所です。道路が狭いため、よく車が転落してとても危険でした。地権者の協力を得て、8年越しの悲願が実現します。全体改良予定延長は860mですが、今回は、160mを幅員7mに改良します。(笠間市押辺(柵山)地区、発注金額23百万円、工期19年5月末予定)



★ 県政トピックス ★

茨城県が県別成長率で トップの予測

2006年12月30日発行の「週間東洋経済」は、2007年度の都道府県別成長率予測ランキングを掲載し、トップは、茨城県の2.46%と予測しました。第2位は、愛知県の2.17%、第3位は、東京都の2.02%としています。最下位の島根県は、0.77%と、各県間の経済力格差が広がっているようです。また、日本経済全体では、1.6%と予測しています。

常井議員は、本県の発展可能性が高く評価されつつある今こそ、地元の総合流通センターへの企業誘致を何としても実現させ、更なる県勢発展を目指していきます。



工事現場の看板が変わりました

常井議員は、予算決算特別委員会(2005.11.14)で、工事現場の看板に、工事の概要や県民の税金がそこでどのように使われているかという情報を記載するなど、標示内容の全面的な見直しを提言しました。その結果、だいたい県民に分かりやすい内容になりましたが、工事金額の記載がないのは残念です。

また、県費補助の市町村事業の看板に、政治的な立場の首長の個人名を発注者として記載するのは好ましくないと述べ、その後県も指導しましたが、一部で守られていないようです。



農林水産委員会 (要旨) (H.18.11.9)

●新制度を農家に分かりやすく説明すべきだ

●米の買い取り制度の拡大を求める

常井委員 19年から品目横断的経営安定対策に移行すると、4ha未満の農家が、米を作れなくなるのではとの不安の声がある。制度の周知が足りないのではないかと。農家に分かりやすく説明すべきだ。

中野農業改革推進室長 小さな米農家でも、これまでどおり米を作っている。米農家への新対策の理解は十分といえないので、しっかり制度を周知して農業者の不利益にならないようにしていく。

常井委員の地元の笠間市農業委員会においても、今月末に品目横断的経営安定対策の研修会があるので、県から出向いて説明したい。

常井委員 米の生産者は、農協に委託して販売しているが、精算・入金があまりにも遅い。農家にとっては、農協が買い取り、現金で入金するのが一番良い。県は、そういう仕組みを作る指導が必要ではないか。

中村農産課長 農協の委託販売では、最終精算までには、1年半くらいかかっている。現在「早期のあきたこまち」に限定して実験的に集荷時に全額支払う「買い取り制度」を導入した。それ以外のコシヒカリなどでも、買い取り制度を拡大していくようJAや生産者と一体的に進めていきたい。

高橋次長 農協、全農の仕組みの中で動いており、全量というわけには行かないと思うが、買い取りも一つの方策と思われるので、ことあるごとに伝えていきたい。



▲ふるさと友部まつりでは、友部商工会女性部の皆さんの出店が素敵で笑顔と元気の良さにぎわった。(18年10月)



▲旭平二区(齊藤三郎区長さん)では、毎年「ふれあいの集い」を開催して、各世代の交流を深めている。常井議員も餅つきに挑戦して、楽しいひとときを過ごした。(18年11月)



▲友部ロータリークラブ(柴山博光会長、飯田武夫社会奉仕委員長)は、毎年愛宕山の「見晴らしの丘」に植樹をしている。今年は、岩間ライオンズクラブ、笠間青年会議所、ボーイスカウトの皆さんも参加した。(18年11月)



▲常井議員は、早朝の友部駅や岩間駅前、通勤通学の皆さんに街頭県政報告をした。(18年11月)



▲常井議員は、職場を訪ね、休憩時間においておいしいお茶を頂きながらミニ集会を行い、県政の課題について意見交換をした。県政に強い期待感を感じた。(18年11月)



▲青年の集会で、4年間の県政報告を行った。若者らしい鋭い質問に、常井議員は真剣に答えていた。(18年11月)



▲厳寒の中、三地区別に消防出初め式が挙行された。消防人としての尊い使命感で活躍する消防団の皆さんに感謝します。常井議員も、防災対策に力を注ぎます。(19年1月)



▲涸沼川に繁茂した竹木の伐採が進んでいる。地元の要望を受け、湯崎、仁古田、下押辺地区で同時に実施している。(19年1月)

燃える郷土愛。全力投球!!

皆様には、常日頃から私の県議会活動に対し、熱いご声援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年12月の県議選におきましては、特段のご支援を賜り、お陰様で3回目の当選をさせて頂きました。ここに、改めて心からお礼を申し上げます。

いま、これまで以上の重責を感じ、身の引き締まる思いであります。この緊張感を、今後4年間ずっと持ち続けたいと思っています。

さて、私は、これまでいずれの政党にも入党したことが無く、ずっと無所属の立場でございました。県議会

は、会派制をとっておりますので、任期毎に会派所属届けを出すことになっております。今回、私は、初めて自由民主党に入党し、県議会の自民党議員会に所属することになりました。

私は、精一杯、公約の政策を実現することにより、有権者の皆様や、これまでお世話になってきた皆様にご理解頂けるようにがんばる覚悟であります。

今後とも、引き続きご支援とご指導を切にお願い申し上げます。

茨城県議会議員 **常井洋治**